

塩竈市議会だより

平成23年12月定例会号

- 定例会のあらまし、議案審議の概要 P 1
- 一般質問、委員長報告 P 2
- 一般質問、意見書、請願 P 3
- 議案等賛否一覧表 P 4

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(364)1214 Feb.2012 (平成24年2月)
 ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/html/about/gikai/index.html>

お正月だよ! 「絵本のおはなししかるたとり」 (市民図書館)



定例会会議日程

(本会議)	12月7日	会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託、請願付託、議員提出議案採決
(委員会)	12月9日	総務教育常任委員会
	12月12日	民生常任委員会
	12月13日	産業建設常任委員会
(本会議)	12月14日	市政に対する一般質問
	12月15日	市政に対する一般質問
	12月19日	委員長報告、議案審議及び採決、請願審議及び採決

定例会のあらまし

平成23年第4回定例会は、12月7日から19日までの13日間の会期で開催されました。初日の本会議では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑後、請願とともに所管の常任委員会に付託されました。また、議員提出議案2件が即日審議の上、可決されました。

各常任委員会は3日間開催され、付託された議案の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、当局の見解をいただきました。

定例会最終日には、各常任委員長から審査結果の報告を受け、議案17件を可決しました。請願については、1件を採択し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は4ページ)

東日本大震災の復旧事業費等 補正予算及び国民健康保険税・ 下水道使用料を引き下げる条例 改正など17件を可決

12月定例会の一般・特別・企業会計補正予算額は、62億4388万円で、補正後の予算総額は631億7808万となりました。

一般会計の補正予算は、東日本大震災に伴う公共施設の災害復旧費、被災された市民への災害義援金及び災害援護資金貸付金、災害廃棄物処理事業費等の災害関連事業費、またヒブクチン接種、子宮頸がんワクチン接種などの接種率の増加に伴う予防接種事業費等として、56億4391万円が追加計上されました。

特別会計の補正予算は、交通事業特別会計の東日本大震災の影響により安全航行が困難となった航路の災害復旧にかかる県への委託経費、魚市場事業特別会計の震災により被災し、危険な状態となっている魚市場施設等の解体経費、介護保険事業特別会計の震災により被災した方の自己負担金の免除に伴う介護給付費等など、6つの特別会計で合計2億5014万円が追加計上されました。

また、企業会計の補正予算は、市立病院事業会計の震災により被災した旧看護師寮の解体経費として収益的支出に1500万円を追加し、災害復旧にかかる建設改良費として資本的支出に1533万円が追加計上されました。また水道事業会計では、震災により被災した方の経済的負担を軽減するための減免及び料金の減収として収益的収入から1億7079万円を減額し、被災した浦戸海底管の本格復旧を図るための災害復旧事業費として資本的支出に2億8000万円が追加計上されました。

その他、国民健康保険税の医療保険分の課税額を引き下げるため、所得割額を100分の8・85から100分の8・10に、被保険者均等割額を3万2000円から3万1000円に改め、1世帯当たりの平均改定率を△3・88%とする「塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例」、震災復興に向けた市民生活の一助とするため、一般

汚水の従量使用料を引き下げ、1立方メートル当たりの平均改定率を△5・40%とする「塩竈市下水道条例の一部を改正する条例」など4件、及び「工事請負契約の一部変更について」など2件の議案が可決され、議員提出議案「定期接種に関し、早期に国の制度確立を求める意見書」など2件が可決されました。



塩竈市魚市場

質 問

本会議における一般質問は、12月14日、15日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは一般質問の中から一つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った一般質問の項目も掲載しています。



自由民主党
阿部 かほる

災害公営住宅の建設見直し

議員 災害公営住宅の建設においては、建設場所と生活の利便性の確保が最重要課題である。被災建物の解体後の跡地利用と商店街再生の観点から一体的な計画のもと、町なかへの建設が望ましいと考える。これは買い物、通院、通勤、通学など、生活の質と利便性を高め、賑わいを創出する新たなまちづくりの礎になるからである。人が住まないまちは、魅力のないまちとなり衰退してしまう。災害公営住宅の今後の建設見直しについて伺いたい。



仮設住宅 (伊保石)

その他の質問項目
①大震災の検証 ②商店街の再生計画 ③観光対策など



自由民主党
西村 勝男

震災復興計画の予算規模と財源は

議員 本市の震災復興に係る事業規模と財源は今後どのようなものか。市の財政負担が大きくなると、今後の経済活動や市政運営が停滞することなどが懸念される。国・県からの復興資金の状況、市の財政負担や起債等の償還額・償還期間などについて伺いたい。また震災復興計画を具体的に推進するための優先課題について伺いたい。



塩竈市震災復興計画

その他の質問項目
①中小企業等グループ化補助金 ②魚市場の改築



日本共産党塩竈市議員
伊勢 由典

海岸通、やみ市、本塩釜駅前商店会の復旧・復興は

議員 海岸通・やみ市は津波被害で店舗が解体撤去されている。海岸通商店街周辺のかさ上げ対策と再開発、及びやみ市の再生計画について伺いたい。国・県のグループ化補助金2次募集において、本塩釜駅前商店会グループ33社、水産加工業グループ48社が採択されたが、3次募集で異業種グループ41社が不採択となった。当該事業にかかる国への予算増額と異業種グループ採択に向けた働きかけは。また、本塩釜駅前商店会のかさ上げ対策について伺いたい。



本塩釜駅前

その他の質問項目
①震災復興計画 ②被災店舗への支援 ③放射線対策など



日本共産党塩竈市議員
曾我 ミコ

住宅の一部損壊に対する支援を

議員 本市では東日本大震災で一部損壊との認定を受けた住宅は、被災住宅の中で最も多い件数となっている。これらの住宅は国からの支援や市の見舞金を受けられないことから本市独自の支援が求められている。多賀城市は11月から被災者生活再建支援制度や応急修理制度の対象とならない一部損壊の住宅に対し補修費の一部に補助を行い、同様に利府町も行っている。県の復興基金交付金を活用し一部損壊住宅に対する支援が必要と考えるが市長の見解は。



被災者総合相談窓口

その他の質問項目
①震災復興 ②水害対策 ③医療費無料化の拡充など

委員長報告

12月定例会において、議案17件及び請願1件が各常任委員会に付託され、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員長 阿部かほる

◎議案第80号、82号、第93号、94号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

緊急スクールソーシャルワーカー活用事業については、現在本市に配置されているスクールソーシャルワーカーを活用し、被災地の児童生徒と教職員や保護者等への助言及び支援等を行うものである。

震災後、問題を抱えた児童生徒及び保護者からの相談件数も増加しており、児童生徒の心のケアは極めて重要であることから、学校と関係機関とのネットワークの構築、連携並びに支援体制の充実に努められるとともに、来年度以降の事業の継続についても検討を深められ、同事業の推進により児童生徒等が安心して学校生活を送ることができるよう、良好な就学環境の整備に努力されたい。

また、不特定多数の児童・保護者が来館することを踏まえ、避難経路や避難誘導などについて検討を深められ、定期的な避難訓練を行うなど、児童生徒の安全確保に万全を期されたい。



産業建設常任委員長 香取嗣雄

◎議案第79号、第82号、83号、85号、第92号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

〔塩竈市公共駐車場事業特別会計補正予算に対する要望意見〕

◎塩竈中央公共駐車場は、東日本大震災の発生により営業を休止し、9月補正予算により被害状況調査及び設計等資料作成の業務委託料を計上し、被害状況や老朽化の実態を調査しているところである。

同駐車場は、中心市街地の活性化に向けて商業環境の整備を目的として、商店街に來訪する顧客の利便性の向上を図るため設置されていたことから、その目的等も勘案され、今後の駐車場運営の方向性について早急に検討を深められたい。

◎請願第1号「水害・災害・高潮に強い安心・安全な生活環境の整備実現を求める請願」は、願意妥当と認め、採択すべきものと決しました。



民生常任委員長 曾我ミコ

◎議案第78号、第82号、第84号、第89号、91号は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

〔塩竈市国民健康保険条例の一部を改正する条例に対する要望意見〕

◎塩竈市国民健康保険条例の一部改正については、本市国保会計を取り巻く状況が厳しい中、財政調整基金を原資として、基礎課税額(医療保険分)の算定に係る所得割額及び均等割額の引き下げを行い、被保険者の負担軽減を図ることは評価できるものである。

本市国保会計においては、高い国保税の要因である保険給付費の縮減が課題となっていることから、健康診査の充実や健康増進対策について検討

般

※ 一般質問とは … 特定の議案とは関係なく、広く市政に関し説明を求めたり、疑問をただしたりすることをいいます。



かいしん
田中徳寿

塩竈市の復興ビジョンは

議員 塩竈市の復興ビジョンについて伺いたい。まず本市基幹産業である水産業、水産加工業をどのように活性化していくのか。

次に、商工業の活性化について伺いたい。商都塩竈を取り戻したいと述べられているが、どのような仕組みを考えているのか。

市長 水産業・水産加工業等の本市基幹産業については、県内漁港の被害が甚大であることから本市は県内の水産業の受け皿的な役割を担うものと考えている。幅広い魚種に対応した冷蔵庫整備への支援、建屋の整備と高度衛生化、水産加工団地への新規企業の誘致などを震災復興計画に掲げ次世代の水産基盤を構築し水揚げの増加を図っていきたい。

商工業の活性化については、り災商店再生支援事業により再開支援に努め、個々の店舗の魅力を向上させる「商人塾」などの事業を継続し、商店街の集客イベントなどの活動を後押しするなど、今後も事業者の方々と連携をしながら取り組んでまいりたい。



水産加工団地（新浜町）

その他の質問項目

- ① 市政運営の基本的な考え方
- ② 職員の定数削減など



新生クラブ
志子田 吉晃

具体的復興事業の進め方は

議員 12月2日に、塩竈市震災復興計画が策定された。また国では第3次補正予算と復興特区法が可決成立している。これらを受け、市はこれからどのように復興事業を推進していくのか。復興計画の5つの方針、①住まいと暮らしの再建、②安全な地域づくり、③産業・経済の復興、④放射能問題に対する取り組み、⑤浦戸地区の復興について、具体的復興事業をお聞かせ願いたい。

市長 ①住まいと暮らしの再建では、被災市街地の土地区画整理事業など22事業で364億円である。②安全な地域づくりでは、街路整備、道路整備など36事業で約98億円である。③産業・経済の復興では、水産施設復興整備事業、魚市場の建屋や施設整備など12事業で約191億円である。④放射能問題に対する取り組みでは、市内各地点や水産品・水産加工品の測定などの事業に一定程度の金額を計上している。⑤浦戸地区の復興では、浦戸の災害公営住宅、高台移転など22事業で97億円である。



震災復興計画地区懇談会

その他の質問項目

- ① 北浜藤倉・中心商店街の復興
- ② 魚市場等の復興特区など



新生クラブ
佐藤英治

基幹産業における成長戦略は

議員 本市の長年の課題は水産業の再生である。二十数年来、水揚げの右肩下がりや水産を初め景気や雇用に影響を及ぼしている。魚市場の充実と仲卸との一体化や、海辺の食事処の整備等の取り組みにより、水産の魅力を生かした総合的な観光ゾーンを整備すべきである。水産業の成長戦略の考え方を伺いたい。

市長 平成22年度から水産庁の調査補助を活用しながら地域水産業の活性化に向けた漁港高度化利用促進事業の取り組みを始めており、地域水産業活性化検討協議会を開催している。協議会委員には業界関係者や県・市も参画し、漁港地区の活性化についてさまざまな角度から議論している。魚市場や仲卸市場の面的な活用方策については、観光や食育の拠点となるようイベントスペース等が必要と協議会から提言を受けている。今後は漁港と港湾を区別することなく、提言を柔軟に受け止めながら、本市ならではの復興の道筋を歩むよう取り組んでまいりたい。



塩竈市魚市場

その他の質問項目

- ① 政治姿勢 ② 児童等の虫歯対策
- ③ 投票率低下対策など



公明党
小野幸男

避難所の運営訓練は

議員 東日本大震災以降、避難所運営の体験型訓練「HUG」（ハグ）が注目を集めている。HUGとは、参加者が避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームで、避難所を運営する際の優先順位や避難者配置のポイントなどを学ぶことが目的となっている。本市においても、各地域などの避難所運営訓練に避難所運営ゲームHUGを取り入れてはどうかと思うが、市長の見解は。

市長 より良い避難所運営を行うためには、市職員や地元住民も含めた避難所運営の研修が必要と認識している。提案の避難所運営ゲームHUGは、避難所運営の模擬体験をゲーム形式で行うことは、参加しやすく、また避難所で起こるさまざまな出来事にどう対応したら良いかをゲームを通して理解し、災害弱者に対する配慮も学ぶことができる。ため、有効なツールと考えている。今後とも、さまざまな角度から避難所運営方法の改善について検討してまいりたい。



指定避難所（塩竈市公民館）

その他の質問項目

- ① 災害に強いまちづくり
- ② 仮設住宅など

本会議で可決された 請願及び意見書

請願

今定例会で審議された請願は1件で審議結果は次のとおりです。

○採択したもの

▼水害・災害・高潮に強い安心・安全な生活環境の整備実現を求める請願

行き渡ったとはいえない状況である。また、VPD（ワクチンで防げる病気）として、上記3種のみならず多くの疾病へのワクチン接種は、本来このような短期の臨時事業で終わられるものではなく、継続して公費負担で実施されることこそが国民の健康維持増進に大きく力を発揮する。よって、国におかれては、地元自治体に負担をかけることなく、国の財政支援を明確にした上で、早期に左記の制度を確立されるよう強く求める。

意見書

今定例会で可決された意見書は次の2件です。

▼定期接種に関し、早期に国の制度確立を求める意見書

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチン接種緊急促進事業は、平成22年度補正予算の成立の11月26日から平成23年度末までの時限立法として実施されてきたが、当該対象者に十分に

- 1 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンについては、定期接種化までの間の臨時促進事業を継続すること。
- 2 高齢者に対する肺炎球菌ワクチンを含むVPDに対する公費定期接種の継続及び拡大を図ること。
- 3 安心して平等に受けられる予防接種対策を確立すること。

▼父子家庭に対する支援の充実を求める意見書

本年3月11日に発生した東日本大震災によって、大変に多くの尊い人命が失われ、被災された方々は今なお不自由な生活を余儀なくされており、一日も早い生活再建と被災地の復旧・復興が強く求められています。

こうした中、第177回国会において東日本大震災復興基本法が成立しました。同法（第2条第2号）には、被災地域の住民の意向が尊重され、あわせて女性、子ども、障がい者等を含めた多様な国民の意見が反映されるべきこと、と記されましたが、今回の大震災で父子家庭となられた方々への支援が思うように進んでおりません。その生活実態は、離別とは異なり、妻を突然失い、生業や住居を失い、さらには家や車の債務を負うという状態にあります。こうした中、仕事を求めて故郷を離れる方々が見受けられます。

孤立化が懸念される中、ときには子どもを置いて追いつめられて自ら命を絶つケースも報道されており、よって、国会及び政府におかれては、こうした悲劇を繰り返さないためにも、対象が「母子家庭」に限られている諸制度に関して、「父子家庭」についても支援対象とされるよう、左記対策についての早急な実施を求めます。

記

1 遺族基礎年金の父子家庭への支援策として、死別の父子家庭の父においても支給対象とするとともに、父と子が共に暮らしているも子に遺族基礎年金が支給されるよう改正すること。

2 東日本大震災における被災された父子家庭支援として、早急に、母子寡婦福祉資金貸付金、高等技能訓練促進費事業及び特定就職困難者雇用開発助成金の対象を父子家庭にも拡大すること。

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成
×：議案等に対して反対
／：議長は採決に加わりません

会議名	議案番号・件名	公明党			自由民主の会			日本共産党 塩釜市議団			かいしん		新生クラブ			審議結果	
		浅野 敏江	小野 幸男	嶺岸 淳一	香取 嗣雄	阿部 かほる	西村 勝男	鈴木 昭一	高橋 卓也	小野 絹子	伊勢 由典	曾我 ミヨ	田中 徳寿	志賀 勝利	菊地 進		志子 田吉晃
12月 定例会	議案第78号	塩電市国民健康保険税条例の一部を改正する条例															原案可決
	議案第79号	塩電市下水道条例の一部を改正する条例															原案可決
	議案第80号	塩電市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例															原案可決
	議案第81号	ふるさとしおがま復興基金条例															原案可決
	議案第82号	平成23年度塩電市一般会計補正予算															原案可決
	議案第83号	平成23年度塩電市交通事業特別会計補正予算															原案可決
	議案第84号	平成23年度塩電市国民健康保険事業特別会計補正予算															原案可決
	議案第85号	平成23年度塩電市魚市場事業特別会計補正予算															原案可決
	議案第86号	平成23年度塩電市下水道事業特別会計補正予算															原案可決
	議案第87号	平成23年度塩電市公共駐車場事業特別会計補正予算															原案可決
	議案第88号	平成23年度塩電市漁業集落排水事業特別会計補正予算															原案可決
	議案第89号	平成23年度塩電市介護保険事業特別会計補正予算															原案可決
	議案第90号	平成23年度塩電市後期高齢者医療事業特別会計補正予算															原案可決
	議案第91号	平成23年度塩電市立病院事業会計補正予算															原案可決
	議案第92号	平成23年度塩電市水道事業会計補正予算															原案可決
	議案第93号	工事請負契約の一部変更について															原案可決
	議案第94号	塩電市スポーツ施設の指定管理者の指定について															原案可決
	議員提出 議案第9号	定期接種に関し、早期に国の制度確立を求める意見書															原案可決
議員提出 議案第10号	父子家庭に対する支援の充実を求める意見書															原案可決	
請願第1号	水害・災害・高潮に強い安心・安全な生活環境の整備実現を求める請願															採 択	
11月 臨時会	議案第75号	一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例															原案可決
	議案第76号	工事請負契約の締結について (藤倉排水機場・藤倉第二ポンプ場電気設備)															原案可決
	議案第77号	工事請負契約の締結について (藤倉汚水ポンプ場機械設備)															原案可決

定例会・常任委員会 傍聴のお知らせ

▼定例会
定例会は、年4回（2月・6月・9月・12月）開催されます。本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴をされる方は本庁4階の傍聴席へお気軽においでください。

なお、傍聴の際は、携帯電話をお持ちの方は、電源を切ってから入室をお願いいたします。

▼常任委員会

常任委員会は、どなたでも簡単な手続きで傍聴することができます。

一般傍聴人の定員は7人となっております。傍聴人は、「委員会傍聴に関する留意事項」を厳守して傍聴していただくこととなります。申込手続きは次のとおりです。

記

○受付時間は、委員会開会時刻の1時間前から30分間

○受付場所は、市役所委員会室（3階）

※申込者が定員を上回る場合は抽選となります。

詳しくは、議会事務局議事調査係までご連絡ください。

電話 364・1214まで



年賀状などの挨拶禁止について

公職選挙法の規定により、議員は選挙区内で、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状を出すことが禁止されております。

市民の皆様のご理解をお願いいたします。

塩電市議会議員一同

今回の定例会は

2月23日（木）

開会予定です

編集後記

市議会だより第186号をお届けいたします。

東日本大震災の発生から10か月が経過しているものの、いまだ市民生活には大きな影響が及んでおります。

このような中、新たな年がスタートしました。私たち塩電市議会も、市民の皆様や市長とともに震災からの復興に向け全力で取り組んでまいります。市民各位のご協力を今後ともよろしくお願いいたします。

議会報編集委員会

- 委員長 浅野 敏江
- 副委員長 伊勢 由典
- 委員 阿部 かほる
- 委員 鎌田 礼二